

# EKATO

## エカート株式会社

### 会社説明

EKATO（エカート）グループは、ドイツに本社を置く、産業用攪拌（かくはん）および混合技術における世界最大の独立系メーカーです。1933年、エーリヒ・カール・トッテンハウプトによってデュッセルドルフで設立されて以来、90年以上にわたり、プロセス産業の発展を支える攪拌技術のパイオニアとして君臨してきました。現在は創業家のトッテンハウプト家による同族経営を維持しており、短期的な利益追求に左右されない長期的な視点での研究開発と顧客支援を特徴としています。

同グループは、用途や顧客のニーズに応じた3つの主要事業会社を中心に構成されています。

1. **EKATO RMT (Rühr- und Mischtechnik)**：プロセス技術のリーダーとして、液体混合用の攪拌機やリアクターの設計・製造を担当。また、過酷な条件下でも高度な密封性を維持する革新的なメカニカルシール技術の開発も行っています。
2. **EKATO FLUID**：化学産業やバイオ燃料分野向けに、モジュール化・標準化されたコストパフォーマンスの高い攪拌機を提供しています。
3. **EKATO SYSTEMS**：化粧品や医薬品向けの真空混合・均質化装置（UNIMIX）や、固体乾燥・混合システム（SOLIDMIX）など、ターンキー方式のプラント設備を専門としています。

EKATOの最大の強みは、単なる機器メーカーに留まらず、顧客の製造プロセスそのものを最適化する「エンジニアリング・パートナー」である点です。ドイツ本社には世界最大級の攪拌研究開発センターを保有し、年間売上高の約7%を研究開発に投資。最新の数値流体力学（CFD）を用いたシミュレーションや、実液を用いたパイロットスケールのテストを通じて、確実なスケールアップ（実験室レベルから工場生産レベルへの拡大）を保証しています。

グローバル展開も積極的で、ヨーロッパ、アジア（中国、インド、東南アジア）、北米、南米、アフリカなど、世界各地に子会社とサービスネットワークを展開。日本市場においても、大手化学メーカー・大手エネルギー事業者との取引実績が豊富であり、世界基準の高品質な「Made in Germany」の技術を提供し続けています。環境保護やエネルギー効率の向上といった現代の課題に対しても、高効率な攪拌翼の開発などを通じて積極的に貢献しており、持続可能な産業界の発展を牽引するグローバルリーダーとしての地位を揺るぎないものにしています。

### 会社概要

**本社所在地**  
ドイツ

### 事業内容

産業用攪拌（かくはん）技術および混合技術における世界的なリーディングカンパニー。各種攪拌機、リアクター（反応器）、メカニカルシール、およびプラント全体の設計・製造・販売。

**代表取締役**  
フィリップ・トーテンハウプト

**設立年**  
1933年

**従業員数**  
501 - 1,000人

**URL**  
<http://www.ekato.com/en/>

### オフィス情報

**メインオフィス**  
〒1010044  
東京都 千代田区 神田鍛冶町3-8-6